

第34回北陸腎疾患・血液浄化療法研究会 (プログラム)

日 時：令和8年10月31日(土) 13:00から

場 所：金沢市アートホール 金沢駅前

ポルテ金沢 6F (ホテル日航隣)

金沢市本町2丁目15番1号 TEL 076-224-1660

当番世話人：福井大学 寺田 直樹

一般演題1

13:10-13:50

座長 厚生連高岡病院 腎臓・リウマチ膠原病内科 三宅 泰人

1 腹部コンパートメント症候群を発症したネフローゼ症候群の1例

1) 石川県立中央病院 腎臓内科・リウマチ科

2) 石川県立中央病院 救急科

○草島翔太¹⁾、寺島 良²⁾、古賀貴博²⁾、柳澤宏嘉¹⁾、
小眞頼明斗¹⁾、額 裕海¹⁾、藤井 博¹⁾、太田圭亮²⁾

50歳代女性。クリオグロブリン腎症および二次性FSGSによるネフローゼ症候群に対するステロイド治療中であった方。治療経過で腹水増加、小腸拡張に続き呼吸不全を呈した。膀胱内圧24-28

mmHgと高値で、腹腔ドレナージにより4L排液後速やかに低下した。大量腹水を主因とする腹部コンパートメント症候群と診断し、CHDFによる体液管理で改善した。

2 皮膚の白血球破碎性血管炎と腎髄質に局限した間質出血を認め、急峻な経過を辿った剖検例

福井県済生会病院 内科

○笠原菜摘、上川康貴、加藤珠代

70歳代男性。全身性紫斑と急性腎障害にて入院した。血管炎を疑いステロイドを投与したが、第8病日に死亡した。生前の腎生検では糸球体病変に乏しく、髄質に局限した間質出血を認めた。剖検では多臓器の小型～中型血管に炎症細胞浸潤と血栓形成を認め、感染症や悪性腫瘍の証拠は乏しかった。本例の病態について省察する。

3 生体腎移植後30年で抗HLA抗体陰性の慢性活動性抗体関連型拒絶反応を呈した一例

1) 金沢医科大学医学部 腎臓内科学

2) 金沢医科大学医学部 泌尿器科学

○細田 拓¹⁾、熊野 奨¹⁾、桂 康貴¹⁾、近藤崇哉¹⁾、
三島瑞樹¹⁾、佐久間愛美¹⁾、松田雄斗¹⁾、白川智彦¹⁾、
岡田圭一郎¹⁾、沖野一晃¹⁾、林 憲史¹⁾、藤本圭司¹⁾、
横山 仁¹⁾、田中達朗²⁾、宮澤克人²⁾、古市賢吾¹⁾

症例は50歳台、男性。逆流性腎症による末期腎不全のためX-3年に血液透析に導入された。X年、母親をドナーとしたABO血液型適合生体腎移植術を施行された。移植後の経過は良好であり、蛋白尿も陰性であった。X+12年目に施行した

プロトコール腎生検ではカルシニューリン阻害薬（CNI）腎症を認めたものの、拒絶反応を示唆する所見は認めなかった。しかし、移植後30年目に蛋白尿の増悪、および腎機能の低下を認めた。抗HLA抗体は陰性であったが、原因精査目的で施行した移植腎生検では、慢性活動性抗体関連型拒絶の所見であった。移植後長期の症例に生じた抗体関連拒絶を認めた貴重な症例と考え報告する。

- 4 非代償性肝硬変や抗血栓薬内服による易出血状態を伴う末期腎不全に対してPDを導入した1例

富山大学 第二内科

○清水英子、仙田幸音、近 聡子、横山真伍、掛下幸太、
山崎秀憲、小池 勤、絹川弘一郎

CKD、非代償性肝硬変、持続性心房細動を伴う60代男性。左心耳閉鎖術後に抗血栓薬を内服していた。腎代替療法としてPDを希望され、SMAP法でカテーテルが留置された。肛門周囲膿瘍を契機としてCKDが更に増悪した。全身状態を鑑みてHDを導入されたが、内シャント作製時に高度な血腫を形成した。職場復帰の希望があり、PDに変更された。その後は出血イベントなく経過している。

一般演題2

13:50-14:20

座長 福井大学 腎臓病態内科学 糟野 健司

- 5 強皮症腎クリーゼ関連血栓性微小血管症に対し血漿交換・補体阻害療法を施行し、経過中に好酸球増多症を合併した一例

金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

○赤松洋光、山村雄太、川原寛之、海古井大智、
蓬田大地、吉田美咲、竹治明梨、越野瑛久、迫 恵輔、
湯浅貴博、西岡 亮、大島 恵、伊藤清亮、
水島伊知郎、坂井宣彦、清水美保、岩田恭宜

びまん性皮膚硬化型全身性強皮症の発症2年後に強皮症腎クリーゼを発症し、血栓性微小血管症（TMA）の合併が疑われた。血漿交換、エクリズマブを施行したが腎機能は改善せず、維持透析へ移行した。1カ月後より原因不明の好酸球増多を認め、ステロイド依存の状態となった。ベンラリズマブを導入し、以降再燃なくステロイド漸減が可能となった。強皮症腎クリーゼに伴うTMAへの血液浄化療法と好酸球増多の病態について考察する。

6 血液透析患者の骨髄異形成症候群 ―当院12例の検討―
藤田記念病院内科

○宮崎良一、宮城恭子、五十嵐一彦

2019年から2026年の間に当院の血液透析患者で骨髄異形成症候群を合併した12例を経験した。年齢と透析歴の中央値と[四分範囲]はそれぞれ、77.5 [70.8-85.5]歳、58 [35-147] か月。12例中5例が死亡し、死因は、白血病化1例、肺炎2例、敗血症1例、不明1例であった。

7 単純血漿交換が有効だった抗LGI-1抗体関連脳炎の一例

1) 金沢医療センター 腎・膠原病内科

2) 金沢医療センター 脳神経内科

○平山 崇¹⁾、宮川太郎¹⁾、南部文香¹⁾、北川清樹¹⁾、
古川 裕²⁾

37歳男性。誘因なく心身の変調と共に記憶障害が亜急性に進行した。頭部MRI所見より辺縁系脳炎が示唆され、後日抗LGI-1抗体陽性と判明し抗LGI-1抗体関連脳炎と診断した。パルス療法2クールを含むステロイド治療に反応なく、単純血漿交換を4回実施した。次第に記憶障害を含めて症状が改善し、第57病日に自宅退院した。

テーマ演題

14:30-16:25 (献腎移植)

座長 金沢医科大学 腎臓内科学 古市 賢吾

8 献腎移植の3例報告

富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科

○篠崎康之、山森文敬、柳澤宏嘉、山口かおり、
舟本智章

富山県立中央病院 泌尿器科

鳥海 蓮、青山周平、島 崇、瀬戸 親

1・2例目：院内で脳死下臓器提供あり、当院登録の2例(40歳代男性、50歳代男性)がレシピエント候補となった。同日に2件の腎移植手術を行い、いずれも術後の透析は不要で移植腎機能は良好であった。

3例目：60歳代女性、他県で脳死下臓器提供あり、腎移植手術を行った。DGFのため3回の血液透析を要したが、その後の経過は良好である。

9 Controlled DCDからの献腎移植の2例

富山県立中央病院 泌尿器科

○鳥海 蓮、青山周平、島 崇、瀬戸 親

富山県立中央病院 腎臓・高血圧内科

山森文敬、柳澤宏嘉、山口かおり、舟本智章、篠崎康之

心停止下腎移植2例を経験した。症例1は68歳男性、IgA腎症、透析歴22年でドナー右腎を移植した。症例2は50歳男性、糖尿病性腎症、透析歴12年。ドナーの腎機能が中等度低下していたため他候補が単腎移植を辞退し、2腎同時移植となった。術後、尿管吻合不全による尿嚢腫を認めたが、穿刺ドレナージにより消退した。両症例とも移植腎機能は安定している。

10 横紋筋融解症によるAKIを伴う脳死ドナーからの献腎移植の1例

金沢大学附属病院 泌尿器科

○牧野友幸、野原隆弘、大野良和、外島和樹、堀 智裕、
中川竜之介、門本 卓、溝上 敦

金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

川原寛之、山村雄太、伊藤清亮、岩田恭宜

横紋筋融解症による高度AKIを伴う脳死ドナーからの腎移植例を経験した。正常な基礎腎機能、非乏尿、CK低下傾向から可逆的と判断して移植を実施。術後、レシピエントの移植腎機能は順調に回復し良好に推移した。高度AKIを伴うマージナルドナーでも、可逆性の適切な評価により十分な機能回復が期待できる。

11 当院で経験した献腎移植後の三次性副甲状腺機能亢進症に対して副甲状腺摘出術を施行した1例

1) 金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科

2) 金沢大学附属病院 泌尿器科

○清水咲来¹⁾、吉田美咲¹⁾、池田 裕¹⁾、津山陽奈子¹⁾、
中道明希子¹⁾、藤木大河¹⁾、森 杏里¹⁾、赤松洋光¹⁾、
川原寛之¹⁾、海古井大智¹⁾、蓬田大地¹⁾、竹治明梨¹⁾、
越野瑛久¹⁾、迫 恵輔¹⁾、湯浅貴博¹⁾、西岡 亮¹⁾、
山村雄太¹⁾、大島 恵¹⁾、伊藤清亮¹⁾、水島伊知郎¹⁾、
坂井宣彦¹⁾、清水美保¹⁾、藤村陸志²⁾、中川竜之介²⁾、
牧野友幸²⁾、野原隆弘²⁾、岩田恭宜¹⁾

67歳女性。慢性糸球体腎炎による末期腎不全に対して脳死下献腎移植を施行した。術後高Ca血症および高PTH血症が持続し、三次甲状腺機能亢進症と診断した。術後8ヶ月時点で甲状腺右葉切除および副甲状腺全線摘出術を施行し、PTH・Ca値は改善した。腎移植後三次性副甲状腺機能亢進症の治療選択と予後について文献的に考察する。

～ 休憩10分 ～

12 末梢血幹細胞移植後のHBV再活性化による肝腎不全に対して脳死肝腎同時移植を施行し、肝移植片由来GVHDを発症した1例

- 1) 金沢大学附属病院 泌尿器科
- 2) 金沢大学附属病院 腎臓・リウマチ膠原病内科
- 3) 金沢大学附属病院 肝胆膵・移植外科
- 4) 金沢大学附属病院 血液内科
- 5) 金沢大学附属病院 脳神経内科
- 6) 金沢大学附属病院 感染制御部

○野原隆弘¹⁾、牧野友幸¹⁾、門本 卓¹⁾、川原寛之²⁾、
山村雄太²⁾、湯浅貴博²⁾、伊藤清亮²⁾、坂井宣彦²⁾、
武居亮平³⁾、岡崎充善³⁾、細川晃平⁴⁾、池田篤平⁵⁾、
久保赳人⁶⁾、岩田恭宜²⁾、八木真太郎³⁾、溝上 敦¹⁾

60歳代女性。肝腎不全発症16日目に脳死肝腎同時移植を施行した。移植肝腎機能は良好であったが、術後1か月に血小板減少、皮疹、消化管障害を認め、生検とキメリズム解析からGVHDと診断した。治療に抵抗し、骨髓機能不全と感染症により術後3か月で死亡した。

13 脳死献腎移植後に高カリウム血症と遅延性移植腎機能発現（DGF）を来した1例

- 1) 福井大学医学部附属病院 腎臓内科
- 2) 福井大学医学部附属病院 泌尿器科

○糟野健司¹⁾、吹上優介²⁾、西森一久¹⁾、遠山直志¹⁾、
宮地宏幸²⁾、西川貴雄²⁾、勝木舞結²⁾、大久保温²⁾、
齋川詩織²⁾、嶋田彩保子²⁾、徐 元錫²⁾、垣鏑 忠²⁾、
兜 貴史²⁾、奥村悦久²⁾、堤内真実²⁾、関 雅也²⁾、
稲村 聡²⁾、多賀峰克²⁾、寺田直樹²⁾

後部尿道弁により小児期から腹膜透析と血液透析歴のある20歳代男性。40歳代ドナーからX年4月に脳死献腎移植を施行した。POD1にDGFを来し高K 7.3 mEq/L、尿量847ml/日、血清Cr 5.8 mg/dL のためHD1回を要した。腎血流は良好のため、高K血症の原因は急性尿細管壊死に加え、タクロリムスによるIV型RTAと術前からのアジルサルタン（ARB）の遷延が一因と考えられた。HD後はK 4.6 mEq/L、血清Cr 2.26 mg/dLに軽快しPOD19に退院した。

14 高齢マージナルドナーからの脳死献腎移植後にリンパ嚢腫を来し腹腔鏡下開窓術で改善した一例

1) 福井大学医学部附属病院 泌尿器科

2) 福井大学医学部附属病院 腎臓内科

○宮地宏幸¹⁾、吹上優介¹⁾、糟野健司²⁾、西森一久²⁾、
遠山直志²⁾、西川貴雄¹⁾、勝木舞結¹⁾、大久保温¹⁾、
齋川詩織¹⁾、嶋田彩保子¹⁾、徐 元錫¹⁾、垣鏑 忠¹⁾、
兜 貴史¹⁾、奥村悦久¹⁾、堤内真実¹⁾、関 雅也¹⁾、
稲村 聡¹⁾、多賀峰克¹⁾、寺田直樹¹⁾

IgA腎症による透析歴19年、献腎待機中に脳梗塞既往の60歳代女性。70歳代のマージナルドナーよりX年12月脳死献腎移植を施行した。退院後にリンパ嚢腫による右下腹部痛、右下肢浮腫、移植腎機能低下あり、経皮的ドレナージにて改善も、ドレーン抜去後に再発した。X+1年4月、全身麻酔下に腹腔鏡下開窓術を施行し完治した。腎移植後リンパ嚢腫は頻度の高い合併症であり、初回治療として経皮的ドレナージが選択されることが多いが、再発例では腹腔鏡下開窓術が有効な治療選択肢となる。

特別講演

16:35-17:35

座長 福井大学医学部泌尿器科 寺田 直樹

「転換期における日本の献腎移植:現状と構造的課題」

自治医科大学 腎泌尿器外科学講座

腎臓外科学部門 教授

岩見 大基 先生

いのち

いのち

生命支えて、生命育む

透析剤や輸液の安定供給により患者さんのいのちや医療を支え、
生殖補助医療関連製品により生まれ来るいのちを育む

私たちは、いのちを支える、なくてはならない医薬品をつくり続けます。

透析関連
医薬品



輸液・
注射剤



内用剤



不妊治療
関連製品



扶桑薬品工業株式会社

本社／大阪市中央区道修町1丁目7番10号



Life forward

かけがえない日常のために

ベーリンガーインゲルハイムは、株式を公開しない独立した企業として、約140年にわたり人と動物の健康に取り組んできました。これまで多様な分野で培った経験やパートナーシップを生かし、未来を見据えて研究開発に注力しています。



詳細はこちらをご覧ください
boehringer-ingelheim.com/jp/



Boehringer
Ingelheim



病気だけでなく、
創薬の常識にも立ち向かう。
未知のイノベーションで、
病気より先に未来へ行く。
できそうもない薬でなければ
私たちが生み出す意味はない。

創造で、想像を超える。



CHUGAI

中外製薬



ロシュグループ



MINNEBRO®

選択的ミネラルコルチコイド受容体ブロッカー

【薬価基準収載】

ミネブロ®錠 1.25mg
OD錠 2.5mg
5mg

一般名：エサキセレン

処方箋医薬品 注意－医師等の処方箋により使用すること

※「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。



Daiichi-Sankyo

製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先含む）

第一三共株式会社

東京都中央区日本橋本町3-5-1

2023年10月作成

高カリウム血症改善剤 【薬価基準収載】
処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

ロケルマ® 懸濁用散分包 **5g**
10g

ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物
LOKELMA® 5g・10g powder for suspension (single-dose package)

「効能又は効果、用法及び用量を含む注意事項等情報」等については電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元【文献請求先】
アストラゼネカ株式会社
大阪市北区大深町3番1号 ☎0120-189-115（問い合わせ先フリーダイヤル メディカルインフォメーションセンター）

AstraZeneca

2024年11月作成

たった一度の
いのちと
歩く。



KYOWA KIRIN

私たちの志

検索

2019年7月作成

変化する 医療の最先端へ

私たちにとって、患者さんは常にすべての中心です。アンメットメディカルニーズの高い疾患領域において新たなヘルスケアソリューションを開拓する、私たちの取り組みの原動力が患者さんです。

私たちは、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えるグローバルライフサイエンス企業です。



詳細はastellas.comをご覧ください





ブレイクスルーを 患者さんへ

バイエルのミッション「Health for all, Hunger for none (すべての人に健康を、
飢餓をゼロに)」の実現に向けて、患者さんの治療に変革をもたらすイノベーションを推進し、
人々のクオリティ・オブ・ライフの向上に貢献していきます。

バイエル薬品株式会社 <https://pharma.bayer.jp>

Health for all, Hunger for none



抗悪性腫瘍剤
ポリアデノシン 5' ニリン酸リボースポリメラーゼ (PARP) 阻害剤

薬価基準収載

ターゼナ[®] カプセル 0.1mg
0.25mg

TALZENNA[®] capsules タラズパリプトシル酸塩カプセル

劇薬、処方箋医薬品 (注意-医師等の処方箋により使用すること)

製造販売

ファイザー株式会社

〒151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7

文献請求先及び製品の問い合わせ先：
Pfizer Connect / メディカル・インフォメーション 0120-664-467
<https://www.pfizermedicalinformation.jp>

販売情報提供活動に関するご意見：

0120-407-947
<https://www.pfizer.co.jp/pfizer/contact/index.html>

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「警告・禁忌を含む注意事項等情報」等については、電子添文をご参照ください。



前立腺癌治療剤

薬価基準収載

アーリーダ[®]錠60mg

【創薬 処方箋医薬品[®]】 Erleada[®] tablets 60mg アパルタミド錠

※注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については、電子化された添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入)(文献請求先・製品情報お問い合わせ先)

ヤンセンファーマ株式会社

〒101-0065 東京都千代田区西神田3-5-2

<https://innovativemedicine.jnj.com/japan/>

<https://www.janssenpro.jp/> (医療関係者向けサイト)

販売元

日本新薬株式会社

〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14

<https://www.nippon-shinyaku.co.jp/>

ヤンセンファーマ株式会社

日本新薬株式会社

Johnson&Johnson



NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

©Janssen Pharmaceutical K.K. 2025

2025年9月作成



Better Health, Brighter Future

タケダは、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献するために、グローバルな研究開発型のバイオ医薬品企業として、革新的な医薬品やワクチンを創出し続けます。

1781年の創業以来、受け継がれてきた価値観を大切に、常に患者さんに寄り添い、人々と信頼関係を築き、社会的評価を向上させ、事業を発展させることを日々の行動指針としています。

武田薬品工業株式会社

www.takeda.com/jp



藥價基準收載



ツイミーク[®]錠 500mg

イメグリミン塩酸塩錠

製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

住友ファーマ株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8

〈製品に関するお問い合わせ先〉

くすり情報センター

TEL 0120-034-389

受付時間／月～金 9:00～17:30(祝・祭日を除く)

<https://sumitomo-pharma.jp/>

2024年2月作成

〈メ 毛〉

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

参加者へのご案内

個人情報の保護について

Web講演の録画や録音、写真撮影（画面のスクリーンショット含む）は決して行わないでください。

個人情報に関する内容に関しては本人・団体の許可なく、学会の中で知り得たことを外部に情報拡散しないでください。

*発表7分、討論3分をお願いします。（テーマ演題は、発表10分、討論5分）

*パソコン（Windowsのみ）発表とします。Windows10で作成したPowerPoint 2013以降のfileをUSBフラッシュメモリーもしくはCD-Rでご持参下さい。

*会場費1,000円をお支払い下さい。

*客席内は飲食禁止です。（ホワイエ・エレベーターホールは可）

*駐車場の割引券の発行はありません。

*単位について

日本透析医学会（5単位）

日本泌尿器科学会（3単位）

日本腎臓学会専門医制度（1単位）

日本腎不全看護学会（3単位）

以上の単位が認定されます。

北陸腎疾患・血液浄化療法研究会事務局

〒920-0293

河北郡内灘町大学1-1

金沢医科大学 腎臓内科学教室内